

第9回 武庫川流域圏ネットワーク 活動報告会の結果概要

- 日 時：2019年11月30日（土）13時～17時
- 会 場：神戸女学院大学 ホルブルック記念館
- 特別講演：越智秀二氏（広島県自主防災アドバイザー）による
「これからの自然災害にどう向き合うか
～西日本豪雨災害の教訓から～」
- 発 表：市民団体・大学生・中学生・自治体などによる
5題の口頭発表と12の展示発表



特別講演：越智 秀二氏

- 概 況：参加者は約70名。

特別講演で越智氏は、2018年の西日本（特に広島県）、2019年の東日本の豪雨災害、さらに多くの自然災害の歴史をふまえて、新たな防災体制の必要性と具体案を提言。1. 災害関連死にも着目し『スフィア基準』の紹介、2. 「わがまち防災マップ」づくりを通じた地域住民の連携の重要性、3. 日本の自然に合った治山・治水の抜本的見直し、4. 「災害大国」日本における国家予算等の裏付けの必要性、の4点に加えて、南海トラフ巨大地震に先行する直下型地震も視野に備えを、と述べられた。理論と実践に裏付けられた、まことに示唆に富む内容であり、会場は大きな共感にまつまれました。

口頭発表者のお名前を記してお礼申し上げます。

石井氏（宝塚市役所）／宝塚中学校科学部／福田氏・染谷氏（関西学院大学）／小川氏（21世紀の武庫川を考える会）／山本氏（武庫川流域圏ネットワーク・津門川の自然を守る会）



- 展示発表：口頭発表の1部と2部の間に見学時間を設け、出展者による2分間スピーチ（自己紹介と展示説明）をお願いしました。交流の一助になったものと考えています。



宝塚中学と参加者の会話



- 大イチョウ：毎回お世話になっている神戸女学院大学会場近くの大イチョウ。（記録：事務局 白神）

- ひょうご環境創造協会・コープこうべ環境基金 助成事業 ■
- 環境学習都市にしのみや・パートナーシッププログラム ■
- 協力：環境都市宝塚推進市民会議 ■

